

市制施行80周年記念誌について

1 冊子の基本方針

吹田の10年間（2010年～2019年）のまちの変化にスポットをあて、吹田の近年の発展を再認識してもらい、まちへの愛着を深めてもらうような冊子とする。

2 部数、ページ数、規格

15,000部、約40ページ、B5版中とじフルカラー、一部英訳付

3 「10年間の吹田の変化トップ10」の候補について

企画の目玉として、近年変化のあった吹田のスポット、できごとを写真と解説を交えながら振り返る。

平成31年1月10日付け、30都魅シ第863号「市制施行80周年記念事業に係る各分野の年表等の作成について（依頼）」にてご回答いただいた内容を参考に、下記10項目を選出。今後、項目を再検討した上で、電子申込システムを活用し、市民からの投票の結果、トップ10を確定する。

（1）北大阪健康医療都市

吹田市と摂津市が、国立循環器病研究センターや地方独立行政法人 市立吹田市民病院等と連携して、循環器病についての予防医療や健康づくりの取組を推進し、「循環器病予防の象徴」と呼ばれるような「健康・医療のまちづくり」を進めている。

（2）Panasonic Stadium Suita（市立吹田サッカースタジアム）

全国で初めて、募金団体を設立し、企業や個人の寄付によって建設されたスタジアムで、日本で6つしかないサッカー専用スタジアム。

（3）エキスポシティ

平成27年（2015年）に開業した商業・レジャー施設。中核店舗となる「ららぽーとEXPOCITY」のほか、複数の大型エンターテインメント施設が入居する。

（4）パークカフェ（bird tree）

平成31年（2019年）2月27日に千里南公園に、四季を通して夜にも楽しめる、新しい形の憩いの場カフェレストラン「bird tree（バードツリー）」がオープンした。

（5）太陽の塔内部公開

太陽の塔は1970年に開催された大阪万博が終了した後、長らく一般公開されていなかったが、平成30年（2018年）3月19日から上層部を含めた内部公開が開始された。

(6) JR南吹田駅開業

平成 31 年（2019 年）3 月 16 日、 おおさか東線全線開通に伴い開業。吹田市内 15 番目の駅となった。

(7) 人口増加35万人→37万人

平成 29 年度に吹田市の人口が 37 万人を超えた。平成 15 年に人口が 35 万人を超えたあと、36 万人を超えるまでに約 10 年かかったが、36 万人を超えてから 37 万人に達するまではわずか 3 年半と全国的にも高い人口増加率となった。

(8) 保育の充実

待機児童解消アクションプラン（平成 28 年度～平成 30 年度）を策定し、3 年間で保育枠を新たに約 1,600 人分増やした。

(9) 市内に大学5大学1研究機関

平成 26 年に大和大学が開学し、大阪大学、大阪学院大学、関西大学、千里金蘭大学、国立民族学博物館（大学院教育機能を有する研究機関）と合わせて市内に 5 大学 1 研究機関がある。吹田市は、総人口に占める大学生の割合が全国屈指の都市である。

(10) 吹田方式でグリーン購入大賞

再生可能エネルギー比率を主な選定要素にした電力調達を開始し、公共施設約 300 か所の電力を切り替えた。「吹田方式」とネーミングされたこの取組が、持続可能な開発目標である SDGs の推進に寄与する優良事例として認められ、グリーン購入大賞を受賞した。

※以上の候補以外に、各所管において推薦するものがありましたら、7 月 5 日（金）までにシティプロモーション推進室までご連絡ください。